



TSUNAGI

つなぎ議会だより

8
AUGUST

明日に向かって
漕ぎ出せ！



令和3年度専決補正予算審議
令和4年度補正予算審議
常任委員会活動報告
一般質問 5人が登壇

つなぎ議会だより

2022. 8

■発行：熊本県津奈木町議会
■編集：議会広報編集特別委員会

〒869-5692 熊本県津奈木町小津奈木2123
☎0966-785351

■印刷：旭印刷株式会社

夢つなぎ人

第13回

訪れるお客様とのふれあい
もてなす心の大切さを次世代へ

つなぎ美術館
カフェスタッフの皆さん



「気軽にコーヒー飲みに立ち寄って」と話すカフェスタッフの皆さん
新しくなったモノレールの前にて
写真 左上から：村上京子さん・川崎裕子さん・岩崎トミエさん
左下から：園木孝子さん・石田ミサ子さん・本田博子さん

つなぎ美術館は開館21年目となります。私たち美術館カフェも共に歩んできました。西川元町長から美術館の受付とモノレール、カフェの運営をしてくださいませんか話を待ちかけられ、婦人会を中心に長きにわたって運営をさせていただいています。

つなぎ美術館とともに

オープン当初はモノレールが珍しく、一日に300人以上も利用するなど大変忙しい時期がありました。津奈木町を訪れるお客様の中には「こんな田舎に素敵な美術館があるなんて素晴らしいですね」と沢山の方がおっしゃってくれます。また、多くのイベントにも参加することができ、子供たちを集めてのワークショップや、みんなの森の「達仏」、最近では「石霊の森」「入魂の宿」の有償ボランティア活動など、たくさんの方の行事にみんなで参加しています。芸術活動のサポートを通じて、知り合った人と人とのつながりを大切に、これからも出来る限り長くやっていきたいと思っています。

議会へ一言

新型コロナウイルスの影響で議会へ傍聴に行けない状態が続いています。また議員さん達も同様に出向く事は難しい状態ですが、新しくなったモノレールに乗ってくださいますよう期待しています。ぜひ、つなぎ美術館へお越しください。

編集後記

暑中お見舞い申し上げますと、季節ながらの挨拶を述べたいところですが、今年は梅雨明けが最も早く、暑中見舞いとしては通常7月7日ごろから8月7日までを挨拶の期間として行われています。

私たちの季節感は、そんな風流なものではなく、気候変動と自然災害、コロナ等に恐れながらの日々となっています。

そんな中せめて、お盆と正月くらいは、日本の文化として故郷を忘れずに帰郷していただき、それぞれの家庭が明るく元気に過ごせることを願っています。

(宮嶋 弘行)

議会広報編集特別委員会

委員長	副委員長	委員	委員
本山 真吾	宮嶋 弘行	澤井 静代	新立 啓介
大川 貴哉			

6月 定例会の あらまし

令和4年第2回津奈木町議会定例会が、6月15日、16日の2日間で開催されました。
本定例会では、令和3年度専決補正予算の承認、令和4年度補正予算、並びに津奈木町立保育園の民営化等に伴う関係条例の整備に係る条例制定など、22議案が提出され、全て原案どおり可決・承認されました。
なお、議会傍聴は、一般住民等5人でした。

補正予算 【専決】

令和3年度一般会計補正予算（第8号）は歳入歳出にそれぞれ2億4320万円を追加し、総額44億3790万円とするものです。
採決の結果全会一致で原案通り可決しました。

迫る公共施設の更新時期

2億5000万円を基金に積み立て

問 2億5000万円を町有施設整備基金積立金としたのはなぜか。

答 歳入が、地方交付税や土地売り払い収入などで増額となった。本来ならば、財政調整基金に積み立てするところだが、公共施設等総合管理計画で大規模改修や建て替えを計画している。

今後40年間で年平均4億円が必要になると想定している。例えば、小学校が建設から53年、中学校が50年経過、目安となる60年まで残り7年となっている。これらの施設改修に対応するため基金積み立てを行っている。

要望 施設の改修等に関する経費を確保することは大切であるが、コロナ禍や豪雨災害復興の中、住民の暮らしは非常に厳しい。第一次産業振興や住民福祉の向上のため、もっと積極的に支出すべきではないか。

主な施設の建設年度

・津奈木小学校	：昭和44年（1969年）
・津奈木中学校	：昭和47年（1972年）
・旧平国小学校	：昭和54年（1979年）
・津奈木保育園	：昭和55年（1980年）
・津奈木町役場	：昭和59年（1984年）
・津奈木幼稚園	：昭和61年（1986年）
・つなぎ文化センター	：平成2年（1990年）
・グリーンゲイト	：平成4年（1992年）
・つなぎ温泉四季彩	：平成6年（1994年）
・つなぎ美術館	：平成12年（2000年）

【議会のミカタ】

- 現在の基金積み上げ額の約9億300万円は適正か。
- 更新の必要性や建て替え等計画は適正か。
- 改修や建て替え時補助金等の活用はできないか。

【解説】専決処分とは

議会の権限に属する事項について、所定の要件を基に、町長が議会に代わって意思決定を行うことです。専決処分をすれば、議会が議決したのと同じ法律効果を発生します。専決処分を行った事項は、議会への報告が必要になります。

補正 予算

令和4年度一般会計補正予算（第1号）は歳入歳出にそれぞれ3億330万円を追加し、総額43億1730万円とするものです。
採決の結果全会一致で原案通り可決しました。

注目予算① 商工費

つなぎ応援商品券5000円を配布

物価高騰・燃油価格高騰により疲弊した消費を回復させるため、全町民に商品券を配布し、消費需要の喚起を行い、地域経済の再生を図ることを目的としている。

全町民へ配布
(500円×10枚綴り)



利用期間

令和4年
11月30日(水)まで
9月1日(木)から



注目予算② 農林水産業費

第一次産業に機械等購入補助金を新設

農業1200万 漁業400万 林業200万

問 第一次産業向け機械等購入補助金の内容は。また石油製品資材高騰に対して行うのか。

答 国の新型コロナ対応地方創生臨時交付金を活用し、農林水産業の経営者に対して省力化や効率化につながる機械購入に対して補助率50%で実施する。
高騰する資材や肥料については検討したい。



省力化機械導入へ1/2補助を実施
(上限：個人50万円グループ100万円)

注目予算③ 商工費

四季彩周辺魅力アップ事業を業務委託

観光資源強化に向け 宿泊施設の設置を検討



問 四季彩周辺魅力アップ事業基本計画策定業務委託料の事業内容はどのようなものか。

答 四季彩周辺に宿泊施設を設置するにあたり、基本構想を基に宿泊施設の機能や規模、場所の選定、構造や概算事業費、外部委託の検討など構想をより具体化して基本計画、基本設計を策定する。



好評だった昨年の四季彩周辺魅力アップ実証業務委託を基に
四季彩周辺に宿泊施設を検討する



注目予算④ 商工費

三ツ島海水浴場トイレ改修へ

キャンプでにぎわう海水浴場トイレ洋式化



ネットで紹介され、週末はキャンパーでにぎわう三ツ島海水浴場

問 三ツ島海水浴場のトイレ改修工事が計上されているが、工事の内容と三ツ島海水浴場の今後のとらえかたは。

答 現在の和式トイレの洋式化と手洗いや便器の自動水洗化を行う。今後の三ツ島海水浴場の観光化や整備計画は、さまざまな意見を聞きながら検討していきたい。

注目予算⑤ 総務費

地域再生の足掛かり

元気づくり補助金を増額

コロナ禍における交流人口の拡大へ



年末に設置されるLEDイルミネーション

問 地域振興費で、元気づくり補助金として、350万円が計上されている。こういった事業内容か。

答 地域の持続効果のある事業に対し、コロナ禍における交流人口の拡大や地域経済の活性化等の実施に対し助成する。申請内容を審査し、夏祭り、ふれあい祭り、グリーンゲイト30周年イルミネーション等を想定している。

注目予算⑥ 総務費

入魂の宿 宿泊施設に向けて

予約システムなどを導入



11月にオープン予定の入魂の宿

問 美術館費で、「入魂の宿」予約管理システム委託料85万2千円が計上されている内容は。

答 宿泊施設として利用するにあたり、無人化システムとして、オンライン化とキャッシュレス化、スマートロックというネット上登録可能なシステムを導入予定である。

意見交換会開催

4月20日（水）にJA女性部津奈木支部と5月10日（火）に津奈木町農業委員と役場会議室で意見交換会を開催。

JA女性部津奈木支部から意見・要望等

- 会員の高齢化により漬物等の伝承ができなくなっている。伝承のための拠点施設として加工場は残してほしい。
- 後世への伝承や特産品開発等町の今後を皆で考える必要がある。
- 町内で食事ができる場所が限定されている。宿泊施設がない。
- 農業従事者の減少とコロナ禍で集会や若い世代との交流ができないなど会員の高齢化が進んでいる。
- ふれあいの店は、高齢者の利用が多く、椅子・テーブル等の憩いのスペースが欲しい。
- 赤崎ふれあい広場の駐車場案内がなく、急坂で入りにくい。町営住宅側から入れないのか。

農業委員から意見・要望等

- 農業政策に関して、町のビジョンが欲しい。つなぎファーム取り組みはあるが、農業従事者が一体となって取り組む体制が必要ではないか。
- 果樹栽培は、高齢化で貸し手は多いが、借り手が少ない。借り手に対する助成はできないのか。
- 農薬や肥料等農業資材費等が高騰しているので、農家に対する助成をお願いしたい。
- 農業共済補償で、水田農家が任意加入になったため、加入者が減少している。助成制度を設けることはできないか。果樹農家は3割助成があるが、助成枠を広げられないか。
- 農業機械のレンタル制度や作業員の確保対策が必要ではないか。

委員会（議員）からの意見等

- 意見・要望等については、担当課に申し入れを行う。
- 農業に対する助成はこれまでも実施しているが、より充実したものを検討する。
- 5年後、10年後の担い手不足問題をどう対応していくのか。
- 高額な農業機械等、共同購入に関する政策提言を行いたい。
- 所得向上のため、水稻の裏作の検討をしてはどうか。
- 耕作放棄地になる前に当該箇所の農業従事者間で情報の共有はできているのか。
- 後継者等に安心して引き渡せる環境の整備が重要ではないか。



JA女性部のみなさん



津奈木町農業委員のみなさん

令和2年7月豪雨災害

復旧状況を視察

6月22日（水）令和2年7月豪雨の災害復旧状況の視察を行った。

発災後2年が経過する中で、令和4年6月末時点で全体の進捗率（発注率）は55.6%、竣工率は24.4%となっている。

工種別に見ると以下のとおりである。

特に河川工事が遅れているが、雨による増水等限られた期間での工事であり、大変と思われるが住民の安全安心のためにも、1日も早い復旧をお願いしたい。



旧平国小現場視察

種 別	全 体		発注済		竣工済		未発注		
	事業費 (千円)	件数	件数	率 (%)	件数	率 (%)	工事費 (千円)	件数	率 (%)
道 路	265,000	26	24	92	5	19	15,000	2	8
河 川	500,000	32	11	34	7	22	370,000	21	66
農地・農道	270,000	41	26	63	10	24	90,000	15	37
林 道	31,000	15	15	100	7	47	—	—	—
漁 港	5,000	2	2	100	2	100	—	—	—
全 体	1,071,000	116	78	55.6	31	24.4	475,000	38	44.4

……………旧平国小学校法面がけ崩れ対策工事……………



着工前



竣 工

進化する教育現場を視察

当委員会では、6月24日に学校タブレットの導入状況について協議するために、津奈木中学校の数学、保健体育のタブレット学習授業を視察した。

津奈木町では、生徒が学習内容をよく理解できるように、また、より豊かに学習してもらうために、小学校197人、中学校105人の生徒全てにタブレットを導入している。

タブレット授業を視察

デジタル教科書を電子黒板に映し出しながら授業ができ、生徒一人ひとりがタブレットに自分の考えを記入でき、それを全体に共有するため、生徒同士が考えを伝え合うことができたり、学習課題を学校でダウンロードして、家庭での宿題として使用できる。

英語の学習では、聞き取り問題や発声練習にも使用でき、英語力向上も望める。また、長期の入院や感染症による出席停止で登校できない生徒に対して、授業の内容を見ながら先生に質問が出来る同時

双方向型のオンライン授業などができる。

生徒たちの上達には目を瞠るものがある。個人差はあるものの、タブレットを上手に使いこなしている。そして、グループ学習などは、タイピングが苦手な生徒を上手な生徒がきちんとフォローしており、委員一同感心したところだ。

今後の課題は

しかしながら課題も出ている。家庭で行うリモート学習の際、ネット未整備世帯に対する対応を考えなくてはならない。また、タブレットを利用したネットの悪用、他の学校で起こっているアカウントを使ったなりすまし問題等がある。これらの問題に対策を講じなければならない。

今回、中学校から要望があったヘッドホンとマイクを一体化したヘッドセットの導入を、6月議会の補正予算で議決した。

これからも中学校、小学校の学力向上のために、当委員会は必要な協議や対策を行っていききたい。



タブレットを使用し数学の授業を受ける生徒たち
集中力も高まり勉強も楽しそうでした



船場校長(右)と倉岡教頭(左)から
詳しく説明を受ける教育住民常任委員会

中学校・教育課と意見交換

問 タブレットの活用に生徒の個人差はないのでしょうか。

答 タイピングが早い遅いの個人差はあります。現1年生は小学校からタブレットを使用していたので、ある程度慣れてしています。これからもタブレット機能の様々な活用法を生徒たちに理解させていきます。

問 新型コロナの影響で、リモート学習の実施はありましたか。また、生徒の家庭にネット環境の整備はされているのでしょうか。

答 新型コロナ感染症の影響がある時には、教室と自宅を繋いでハイブリッド授業を実施しています。

この授業を行う際に、各家庭にネット環境が必要になりますが、ネット環境がない家庭もあります。未整備世帯については必要性を説明し、整備を促していきます。また、要保護・準要保護世帯について

は通信費負担分として月1,000円を助成しています。

問 先生達に対して、指導方法の研修は行っているのですか。

答 年1、2回程度の全体研修を実施し、個別でも研修を行っています。また、授業で活用した事例を振り返り、各自情報交換を行い、不明な点は担当者へ問い合わせできるようになっています。

問 議会に要望等はないですか。

答 6月議会補正予算で、ヘッドセットの購入予算を議決していただき、ありがたく思っています。現在、国では、タブレットやヘッドセットを活用したテストの実施が研究されているところです。大いに活用していきます。



福祉の今後はどうするのか

上村 勝法 議員

社協の訪問介護事業について

問 今年5月に議会の教育住民常任委員会と社会福祉協議会との意見交換会を行った。

その中で訪問介護事業は、町内外に介護施設等が増え、利用者の減少も影響があるが、資格取得者の求人に応募がないことから、継続していくことが困難であると聞かすが、町としての考えは。

答 【町長】 社協は地域福祉推進を図ることを目的とした民間組織である。訪問介護利用者の意見を聞きながら、ほかの民間事業者と連携をとり運営し、社協自体が経営努力することが第一だと考えている。

役場職員を社協に派遣できないか

問 社協の業務負担により業績悪化を抑えることと、運営状況を把握、また安定するためにも役場職員を派遣することで連携が図れないか。

答 【町長】 役場内での人事配置は、各課の仕事量を考慮しながら人事配置を行っているが、職員が足りない状況で派遣できない。社協で人材を育てていくのが先決だと思う。

民生委員の増員は可能か

問 近年、全国的に民生委員、児童委員のなり手不足が懸念されているが、どのように編成しているのか、また住民のニーズに応えるためにも、人数、地区割など、再編成できないのか。

答 【ほけん福祉課長】 定数基準については、厚生労働省より市町村ごとに基準が示されており、民生委員は、町村で70から200世帯に1人で、主任児童委員については、民生委員、児童委員協議会の定数が39人以下の場合は2人である。

この定数に基づき主任児童委員2人を含めて15人となっている。また定数については3年に1度県より調査があり、変更の意向がある場合、具体的な活動状況や担当地区状況、地理的条件など詳細に理由を付して回答し、その後、県によるヒアリングや必要に応じた現地調査等が実施され決定されるものである。

町の希望がそのまま反映するものではない。協議会から意見、要望があれば検討、協議することとなるが、現在申し出はない。

民生委員への支援が必要では

問 民生委員、児童委員には、国からの活動費の支援があるが、近年、活動の負担が増してきていることから、町からの活動費を増額できないのか。

答 【ほけん福祉課長】 町独自としては、補助金144万3,000円の補助金を計上しているが、近年、高齢化により要配慮者なども増加傾向にあり各委員の業務負担も大きくなりつつある。協議会の意向などを確認しながら、申し出があれば活動費への補助金増額についても町として、必要な支援を行っていききたい。

幼稚園の今後の行方は

宮嶋 弘行 議員



幼稚園閉園の決定について

問 教育委員会と総合教育会議での協議内容は。

答 【教育長】 職員構成と定年退職等により、職員組織としてぎりぎり運営がなされてきた、園児減少に伴い、令和4年度は2クラス4人、令和5年度は1クラス3人となる見通しとなり、集団保育としての良さを生かされなくなり、総合教育会議で今後の概要を、町部局に説明し閉園の時期を令和4年度末としての結論となり、幼稚園保護者への説明をまとめる協議を行った。

問 今年度末までの計画と園児への対応は。

答 【教育課長】 今後の計画は、閉園への式典に伴う予算措置、条例改正等を検討する。園児への対応は、年間を通じ津奈木保育園との交流を行い、水俣消防署の見学、人形劇の観劇、プールでの授業、給食の試食会など、9項目を合同で計画している。

問 閉園後の施設の利活用は。グランドゴルフ場利用者の併設施設としての活用や社会体育活動のためのスポーツ環境施設の充実を活かす施設として検討できないのか。

答 【教育課長】 閉園後の利活用は、場所としても好立地条件下であるので、教育施設に関わらず町当局と一緒に検討したい。

答 【町長】 議会や執行部との考え等を鑑み検討したい。

町民体育祭の運営は

問 地区へのアンケートの集計結果とどういった方向で実施するのか。

答 【教育課長】 アンケートの結果については、現時点での町民体育祭への各種目参加が出来るか出来ないかを尋ねた。

区長へのアンケート結果

種 目	参加出来る	参加出来ない
男女混合ミニバレーボール大会	13地区	7地区
野 球 大 会	13地区	7地区
競 舟 大 会	15地区	5地区
町 民 大 運 動 会	11地区	4地区

体育部長にもアンケートの回答を聞いているが、区長回答との誤差はあるが、新型コロナウイルスへの不安と高齢化による選手確保が困難であるとの回答が主であった。

今年度の運営に関しては、スポーツ協会で協議し、野球大会は3地区までの編成等を考慮し、開催予定。競舟大会については、コロナの不安から中止する。町民運動会は、8月定例理事会で判断する。年間の総合得点制度は廃止する。

未だに心配されるコロナ

問 5月29日(日)に実施された接種は若い世代への接種率向上となったのか。

答 【ほけん福祉課長】 18人が接種されて、20代が2人、30代が1人、40代が4人、50代が8人、60代が3人であった。町においては少しでも接種希望者の向上になったと思う。

その他コロナ関連の質問

- ・若い世代の接種率低下と、ワクチンの廃棄処分の現状について
- ・3回目のワクチン接種率と、小児ワクチン接種状況について



深溝ダム周辺の 今後の計画は

本山 真吾 議員

ダム周辺の管理はどうなっているのか

問 深溝ダム周辺は現在雑草が生い茂り、イノシシや鹿のすみかとなり、地域住民に影響が出ている。管理はどのようになっているのか。

答 【建設課長】 平成6年10月に水道水もとれる多目的ダムということで熊本県に要望書を提出し、平成7年事業採択、平成11年2月に深溝ダムが完成した経緯がある。

現在は周辺については町が管理している。春になると桜が咲くので町の有償ボランティアの方々をお願いして、草刈り作業を行っている。ダムから上流側については定期的に県が管理している。



竣工から23年経過した深溝ダム

問 水源地までの道路愛護作業を竹中地区で行っているが、高齢化に伴い夏場の作業は非常に厳しい状況だ。ダム周辺の道の草刈りについては、町で作業するようできないか。

答 【建設課長】 道路等の草刈りを地区をお願いしていることは、感謝しているところだ。できない場所があれば役場に連絡してもらい、町の有償ボランティア、もしくは外部委託での対応を今後検討したいと思っている。

問 深溝ダム周辺はダム完成から23年ほど経過している。景観・環境共に素晴らしいが、今後の計画は。また、ダム左側の町所有農地の利用についてはどうか。

答 【町長】 津奈木町には景観のきれいなところがたくさんあると思っている。現在舞鶴城下を重点的に公園化を進めているところだ。深溝ダムも含めて一つの検討課題として考えている。

道路の維持管理はどうする

問 町内の県道は除草剤を使用して作業しているようだが、町の管理下にある道路においても、作業コスト面や舗装寿命の延命、交通安全などのメリットを考慮して、今後は場所によっては除草剤を使用してもよいのではないか。

答 【建設課長】 現在町が管理する道路においては、町の有償ボランティアやシルバー人材センターをお願いして、草払い機による作業をしている。県道については令和2年7月豪雨による災害復旧工事の増加により、現場作業員の人員不足に対応するため、除草剤使用による除草作業を試行的に行っている。町が管理する道路については、周辺への環境への影響が懸念されるため、従来の草払い機による除草作業を行いたい。

答 【町長】 除草剤使用については、自然な状態が緑色に対し、枯れた状態が茶色であることから違和感がある。今後も草払い機による除草を行いたいと思っている。

放課後児童クラブ 風ん子の改善を

大川 貴哉 議員



風ん子の運営時間について

問 放課後児童クラブ風ん子は、運営が平日午後2時から午後6時まで。土曜日及び長期休暇においては、午前8時から午後6時までとなっている。民間の会社に勤めている保護者のほとんどが午前8時の出社時間になっている。

保護者の通勤時間を鑑みて、土曜日及び長期休暇時の開所時間を早めるべきではないか。

答 【ほけん福祉課長】 放課後児童クラブの時間変更等となると、現在の有資格者や有償ボランティアの勤務時間の変更を伴う。放課後児童クラブでは1クラスにつき指導員を2人以上配置し、うち1人は放課後児童指導員とするよう定められている。交代しながら時間を調整しているため、退職等があると基準を満たさない恐れが出てくる。

安定した事業継続のためにも職員の配慮が重要と考えている。現在のところ時間延長は難しいが、今後の運営は状況を見ながら考えていく。



風の子の子どもたち

旧平国小学校運動場の利活用について

問 オイスターバルや平国小マルシェなどが開催されている旧平国小学校だが、運動場に関し

ては管理が行き届いてないように思う。この運動場に素晴らしいグラウンドゴルフ場を作ったり、キャンプ場を作ったりと、魅力的な施設整備を考えてみてはどうか。

答 【教育課長】 旧平国小学校運動場の受付業務については、地区の方々に委託しながら管理を行っている。また、シルバー人材センターに除草作業をしてもらい、環境も整えてきた。令和2年7月豪雨災害により、現在も復旧作業が続いているので、利用できる状況となったなら、新たに整備して利用できる環境を整えていく。

年々取り巻く状況が変わっているので、将来的には校舎全体を含め検討する必要があると考えている。

河川の土砂撤去について

問 千代川において、護岸の復旧工事や溜まった土砂の撤去作業が進んでいる。

内野地区でも工事が行われており、地域住民も安堵している。しかし、寺前橋上流付近など、土砂の溜まった箇所がまだ見受けられる。調査して対策を講じてもらいたい。

答 【建設課長】 寺前橋上流側にも土砂が堆積しているのを確認している。その箇所は、護岸が崩れているため、県の災害復旧工事が予定されているので、併わせて土砂の撤去を検討している。

町では、令和2年7月豪雨による河川災害復旧工事に20河川、32箇所を年度ごとに発注している。令和3年度までに、8河川11箇所を発注し、本年度残り12河川21箇所を発注に向けて準備を行っている。地元からの要望や定期的な巡回をして、今後も引き続き対策を行っていききたい。



町制施行60周年記念事業と町誌発刊の予定は

新立 啓介 議員

記念事業計画は

問 令和5年4月1日に町制施行60周年となるが記念事業等、何か計画を考えているのか。

答 【町長】 60周年の記念事業は今のところ計画はしていない。

問 10年ごとの節目においては、ボランティア等長年活動された方々を顕彰する各種功労者表彰等はやっていいと考えているが如何か。

答 【町長】 功労者表彰は、やっていいと考えている。

問 町制施行30周年の時に津奈木町誌上巻が発刊され、全世帯に配布された。60周年に当たり下巻の発行予定はないのか。

答 【教育課長】 下巻では、地史（風土記）及び文化財、文化財史を中心に編集される予定であったが、これまで町誌下巻の編纂についての具体的な話まで至っていないのが現状である。

問 今回は予定がないということだが、今後70周年等に向けて、下巻の発刊に取り組みをしていただきたいが如何か。

答 【町長】 上巻発刊には、15年ほどかかったと聞いている。下巻発刊にも、人材、資料収集、編集、時間、費用等を考慮しなければならない。将来的には発刊しなければならないと考えている。

問 町誌については、課題も多いが、町の歴史を振り返るためにも町勢要覧や広報紙などを活用し、60年の歩みを作れないか。

答 【町長】 町勢要覧や広報紙など、作りたい考えは持っている。

人権擁護委員の推薦を承認

平野新市さん（平国下地区）

山下 泉さん（古川地区）

2人の推薦があり、全会一致で承認。

平野さんと山下さんは、令和元年10月1日から人権擁護委員を務められ、今回で2期目となり、任期は令和7年9月までの3年間です。お二人の活躍を期待します。

○人権擁護委員とは

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱され、人権擁護委員法に基づいて地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したり、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。

議会改革を継続 定例会後の反省会を開催



議会後の反省会

議会改革の一環として、6月30日に6月定例会後の反省会を全員協議会で実施した。

反省会における内容として、全議員が町執行部より提出された「専決補正予算」「一般会計補正予算」等に対する内容性とそれぞれの議員の考えについて、全議員が発言し、情報等を共有する目的として行った。

また、必要不可欠な予算配分が適切であるのかを深堀し、追求すべく案件としてなかったか意見交換を行った。

一般質問に関しても、各議員の質問内容について、十分な質疑として結果へ結びつくような質問であったかを検証し、今後の議員の資質向上を目的とした協議を行った。

議会のうごき

【6月】

8日	議会運営委員会
15日～16日	第2回議会定例会
22日	総務振興常任委員会
23日	教育住民常任委員会
30日	議会全員協議会
16日、30日	議会広報編集特別委員会

【7月】

5日、8日、12日、15日、19日、25日	議会広報編集特別委員会
20日	総務振興常任委員会
21日	教育住民常任委員会
27日	県議長会常任委員長 議運委員長研修会

【8月予定】

3日～4日	水俣芦北地域振興協議会前期要望活動
中旬	総務振興常任委員会 教育住民常任委員会
24日	県議長会正副議長研修会

【9月予定】

上旬	議会運営委員会
中旬	第3回議会定例会



第2回議会定例会



総務振興常任委員会



教育住民常任委員会